

入会申込は直接本部までハガキで一報下さい
東京都文京区音羽七ノ一〇〇
友愛青年同志会

.....【写真は今大会本会開催】

る。
な北本会からは、神
川手学生対常部長が
である。

△第二回
事に終つて、本年
表が、神
スター・
で、本年
贈つてを
は、年間
も重要且、意義ある、種
△大会において、種
議されたが、そこに

開會後一
まず委員長
を委員長議
を行われ
は常任幹
員とされ本
の運営の
れた同議、決定
に大善な意味をもつ
から「友愛」の共通
て果つた、同志と
言ふようなものを
友愛では、多数の
活発な活動が行わ
たし諸君に一名と
うなところで「友

[illegible]

『友愛』といふつな
 かい雰囲氣であらう
 七夕の星と隔けり極
 時間内のめぐり合い
 年の再会を納めて全
 くひとひとの、まぶ
 び雲のいるは、ひ
 や村におぼる、新た
 を示しているように

開會後一
まず委員長
を委員長議
を行われ
は常任幹
員とされ本
の運営の
れた同議、決定
に大善な意味をもつ
から「友愛」の共通
て果つた、同志と
言ふようなものを
友愛では、多数の
活発な活動が行わ
たし諸君に一名と
うなところで「友

[illegible]

開會後一
まず委員長
を委員長議
を行われ
は常任幹
員とされ本
の運営の
れた同議、決定
に大善な意味をもつ
から「友愛」の共通
て果つた、同志と
言ふようなものを
友愛では、多数の
活発な活動が行わ
たし諸君に一名と
うなところで「友

[illegible]

野靜雄(詞
岡県) 勝岡
學) 大村博
木一生(日
中央大學)
天宮俊雄

團の他に、国際セミ
ナトリウム運営・学
習促進・留學生交流
同団の本年度事業は
の具体的運営・世界

百川政務
大家義夫
遊河閣次

計画されているので
鑑活劇の強化が討議
予想され總會を機と
学内の組織活動の展
る。

なお本会からは、肥
川手学生対常部長が
である。

△第二回
事に終つ
表が、神
スター・
て、本年
贈つてを
離、年間
も重要且
△大会にお
議されたが、そ

開會後一
まず委員長
を委員長託
を行われ
は常任幹
員とされ本
の運営の
れた同議、決定
に大善な意味をもつ
から「友愛」の共通
て果つた、同志と言
言うようなものを教
友愛では、多数の
活発な活動が行わ
たし諸君に一名とか
うなところで「友

「はじめて全国の『女』を
△△のような方は大
いというごにもな
荷動も自信をもつて
かばつて分おらず
的的に見てどのよう
川手正一

『友愛』といふつな
 かい雰囲氣であらう
 七夕の星と隔けり極
 時間内のめぐり合い
 年の再会を納めて全
 くひとひとの、まぶ
 び雲のいるは、ひ
 や村におぼる、新た
 を示しているように

△第二回
事に終つ
表が、神
で、本年
随つてを
離、年間
も重要且
△大会にお
議されたが、そ

開會後一
まづ委員長
を委員長議
を行われ
は常任幹
員とされ本
の運営の
れた同議、決定
に大善な意味をもつ
から「友愛」の共通
て果つた、同志と
言ふようなものを
友愛では、多数の
活発な活動が行わ
たし諸君に一名と
うなところで「友

「はじめて全国の『女』を
△△のような方は大
いというごにもな
荷動も自信をもつて
かばつてり分おらず
的的に見てどのよう
川手正一

『友愛』といふつな
 かい雰囲氣であらう
 七夕の星と隔ちて極
 時間内のめぐり合い
 年の再会を約して金
 くひとひとの、まぶ
 び霧のいるは、ひ
 や村における、新た
 を示しているように

心とな
して行
は、影響
した。
について運
部提案
衣とも本
側極的
期する
部役員は
を要請
本会運動
、本会
がみ含
意見を

Downloaded from <http://ajph.org/> on November 10, 2015

Downloaded from <http://ajphaphapublications.org/> on November 10, 2015. Copyright © 2015 American Journal of Public Health. All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted, in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or by any information storage or retrieval system, without prior written permission from the American Journal of Public Health.

第二分科
委員会
組織活動の強化を可決

新生活運動推進等の具体的活動も決定

第二分科委員会には、組織拡大に
関する件、股利対策に関する件、
新生活運動推進に関する件、青少
年不良化防止に関する件の四議案が
案が付託された。熊倉典治君、長野
不敏、議長となつて、三月廿二日
下午三〇分開会された。

同日同委員会には、奥田、川手、
水の各常任幹事が、各議案の説
明を述べた。

最初組織拡大に関する件となり、
奥田君が組織拡大に關する件とし
て、あつた理由を奥田常任幹事より
説明、戦時疎に入る、組織を過

宮内、英、露、よつM・R・A
を友邦とする。よとの英、露
友邦特任理事より彼とよも分違
結をばるとの答へあり、續いて
従來の反にについては村田、日
中の英露の連合問題に對論
がうづりあふ運動の積極的すべ
しといふ意見と、無差別の色彩を
出さず友愛運動の素運動を展開
せよとの論と時期早々の論が交
り立し、結としてはやをたへえ
つて友愛結出の運動すること
となつた。

議決案の基本及び具体問題の理解方
法を述べた。

議決案の順として、先ず活動推
進に關する件を解するところ
に當り常任理事より、提案案の引出し
明があり、早速友愛運動に入つた
第一の、幾ばによ社会制度の確立
をめぐるて古川君、佐倉君より
宗教に關しては各自の自由意志に
よるべきだとの意見決定し、
更に古川勝吉君、金島より我
等諸君の確固の精神は運動が
組織は立派であるか、とくに同員
にはうたはなほのこととなつた。

創立した翌年の生誕日、同じくこの日を「創立記念日」として祝賀するとの意見が多数を修得された。二諸の側面から見て、この案は否決された。

保健館内の項目では、上田君（福岡・豊前）より町村社の社説と協力をし、清酒販売の意見を年同志会が行ったとき知事の意見を通り、また急ぎ護法の法はボースカフという名前の贈をとり、友愛館上で紹介することとした。

酒類の合理化については、云々はよく表にはびくつかないが全国各々のさまざまな間題・困難を考慮して懸念があるところであり、その

際等々、何處も、原案に於いては難問の所在を解決すべき手配として本会としても大いに努力せよとの要請があり、又岡田氏からは賛成等について考へるべきとの意見がなされ、最後に川平常任幹事より、これらの問題については、本部幹部対策のもと、與會者の全會合衆の協力のもと具体行動としし續戦的に推進し行くとの答復があり、この提案は可決した。

二〇月廿八日 対策委

極的に劣るものとの差がな
たゆ、いさか努力を致してあ



(写真 は 誤 写)

北海道の方々に

こんどの大会を通じて、最も淋しかったのは北海道からの代表がすべて欠席したことであった。余市の片君などは、今年度の大会には」とあつたひびくやせのように

深く常任幹事の中で、本会集場でも一度も欠けしなかつたのは、私だけだつたことに思ふのである。これは決して意氣なこともなければ、その誠意を充分示しているとも言いがたい。しかしこのように私を戒める意味で大会の常任幹事の立場に

深



洋 栄 一

にどのような議論がたなげられたかについてはわからな。けれどもそれは初めこの中教養指導と部活という名前を聞いたときのような印象をあたると言ふ意味で反響をうけた問題をやつてゐる。そして読者に入つてゐる

それはわが上なる鬼の押入、空とわが内なる道徳味とである。この同村君が引用した英訳、批判の精神裏面にある言葉は、私の学生時代にそれを讀みながら傍觀した大層所でもあつた。私はこの言葉の意義を徹底的にも白ひ、この鬼の押入を大々と衝破し、太平洋の空に押入を飛ばさなくては、何うせんといふ一心をこめて、やせざるも天井の面会である。その時はじめて鬼の押入を見た。

新潟県妙高から出席した關温

針にたいしては、母生(宇部)より、矢張迅速な運動の指導をもつてが擔當され、矢野台(蒲原)より、合宿会館成の本部を援助するとの他言がある。

その後、各町村の青年團役と名乗る本部に交付した女子會費を増加せざるやう等々の意見から豫選されて満期、致本舞臺の成立した修例何れも、其実践運動の強化の文中、何より先ずその後「理論にも手早く」が挿入された。

生活の合理化を討論

大会二日目の翌午、委員同会はスナニョウとして、定期九時半の開始した。

戰前年同志会の運動を共通するのは、今回は彼の年の合理化と同じく、今度は眼見られたものと實際の間に違ひを生じたことを承知して、それが是れを承知して、生活の合理化に向つてのことである。生活の細部に違ひあるか、又は異色の運動であるかについてばかりではないの意見を、若ながら其の根本には、夫體の連進運動の根本部分からは、主幹運動を始めて、その運動と共に、主幹運動を始めることと、主幹運動とも分連運動とも協力し、ともに際の展開して、具體的運動のものを出して、實際の運動と一致すると、説き及ぶ。

衣匠の改訂中の服装の知識と一致する。

最近のことに通つて、友達の本年度
 後のことを問ふと、友達の生年
 の大體な事と少し親生活動動を
 やるとの意見を、獨獨一言可決
 した。

農村対策強化急げ

最初に川島代表幹事より提議、田
 の開拓なり直に事務會議に入
 つた。まず岡田代表幹事より、
 農村問題は此の國の要案にとど
 まらずに、農村人口、農村運送
 も研究され、國體健全に關係し
 へて行なはなければならぬとい
 う、影響は偉大、時期は早計と
 するに要請すると、案がなされ
 した。又、四國現代の石井が、

青年生活の防正に關する件につ
 いて、提議者水谷仁幹事、他
 の委員、岡田中村の二名川島代
 幹事より代議説明がされた、審
 議直進され、その意見の當否の
 問題であるが各代表より活
 発な意見の交換がなされた。

まず福岡代表水田田幸より、
 映・出版費急ぎ支給に対し、青
 少年生活休止に關係するに、青
 少の意見をこの程がなされ、
 川島代表幹事よりこれに対する
 答へがなされ、岡田代表、岡田
 部の意見が述べられ、直に岡田
 部長の意見が述べられ、つづ
 ぎで長野士、蔵君より友愛年
 度、國體現代の石井が、

団體に對し、本部開しても

青少年連立機関の存在が多かつたためか、いふの具體的實現が模索された。その後、ヒロポン豫選運動を定今年は行ふと、この運動がなされた。諸局長的計画は本黨部員に任ずると、事務で本黨を部分別に修正し、諸事を終した。

中央青少年問題協議會に對する要請文

わたしたちは、友愛懇親の普及による友愛社會の實現を目ざして、よく國に於ける民主主義の発展の

青少年に關する問題に神に依りて、奮發態度ありまことばわわわわ、青少年の立場において自分たちに關聯し、いふのは、社會の責任を從つてわれわれは日ひの青少年を、他の諸青年に比ば、社會の責任を他の如何なる團體の人々よりがかり、自らを離脱したるものかを自らの體驗してわれわれなりに把握して取ります。貴會が青年問題のよき解決を求められ、そのよきならば、今日社會にあつてゐるならば、青少年連立のありて、貴院に青年運動のつらむわれわれ青の代表を貴會に招き入れ、自語せられんことを要請致す。

私にとつてこの大恩大徳に報われる
この力が多くて、もつぱら聞齋
彼にまつたものであつた。それ
に相対する第二の面には、末村
氏のカルキ一について講義の
司會をたゞだせられて、中村
の汽車に時間じられて中村が
北川君代わつてつてお申と
り、極度の困窮され経緯じい持
合はれていひ私にとつて、今度の
大恩は、はじめてのものであつた
と言つてゐた。私故に余にと
つてある各持家の義のどれをも
つて抱へられしく、剛味深かつた
のである。

人か、この名前が其處の中央指導部で連想するものであらう。そして、またこの部では指導理念をつつと、そのおしるひを意にうつり、それを指導することによって会員の教育や、指導を行なふなどと言ひ聞や考えもつたなり、それは已に降止れて然るべきかと感のたつ。

スター・ホルの天井

大会の開会式の席上で、岐阜県大学の新習志士方力の言を引用して語り、ホルの天井について話すと、私はこれに何かあるのかも、とめづめたことがあった。それ以来、この言葉はよく

外、今般の星を鑑みて、今年、金婚の宴を廣げていた。スーの名字である花に出を要するが、キンブツ山頂の野望に見る星をこの天井から懸念い出ししか、思われた。そして私にはの感懐が彼の人物を見るうちに、さき告げられた余計になるが、この会場へ来たとき、若者として責任の端を荷つてたのだのは、一機を荷つてたのだのは、先生と大学の大学生であり、先生と日にかね前受付で用申したことに向け羽田出発される。そして今アメリカ門開れる。豈に大々會を無事に終ることで喜ぶ。

而と貸出金をと、連年のこの期間に貸付金高が多少し高が短期にしている。したがって、この手引買付が実現されたなら例年の供出代金の二割程度、約五百億円が六・七月に農家のなごころに入るわけ

最近の農業問題

予約買付制と農地増

川手

擔保融資制

正一郎

も明瞭でなく、その具体的諸条件も不明なもので煩瑣とも論じ難く、従来のもろい信用制度にまつての悪い例を引いて、まさに新法體立への要諦として示して行く希望をも与へ得ずして止むを得ない。

はつてゐる。この問題については、本会月の金大天に於いては維持資金とし十千圓が計上されてゐる。

の十年度貸付の案を出した村の部代表は、農地担保融資法の現案を要旨が聞かれたが、この問題は單一融資との問題としてかりでなく、直ちに國家生活の問題として非常重要な問題である。

例えは、斯様な融資を必要とする農家の大部分は、その機構が家であつたと思ふ。斯様なものは

政府に要求するものである。ところが三十年に入つてからこの農家の生活は、農協運動が全通しの進展状況を受けても、他産業に比較して著しく減少し、貧困面が加つてゐるのである。

これには三十年の呉格と金田の経済期にあると思われる、それによつて今年、農家経済が、余剰期に今年より更に進歩されるであろう、まづそれは細細担保貸付制度なるものをもつての農家のものとなつて、昇進に感ぜざるものとなつて、最後にもつて政府に要求したい。

『アジア青年問題』懇談会

「本紙に於いても所載した通りだが、昨年春日田島の衆体の長期別会委員が、イソその他青年団体の交流を、深めてきた、これに機会に、改めての間に深い心を寄つていたた日本青年会では、来る百十七回大会（本年より）で、参議院議員会に衆体、辻田氏にまねき、そのの貴客と共在、各團體との交流を進行する、」『アジア青年問題』懇談会

言つた内は、「芝のゼンナ
て此輩の方がそんなやうな
てして来たのではないですか
か」とあるたかもの責任が
あるよな言ひ方をした。私は
「そんなことはない」と断つて
答へたが、賀宮文が会で承認
されたこと、九州の市長のそ
うな朗読と鬼出の意見、何
れも重大な誤りを犯したやうな
氣がしたのである。

中央教育指導部
について

中央教育指導部」の存在をいかに
主張して来たか、そのうちにも
改めて述べられた。そのうち
な系統で問題をそのれた問題
であった。しかし、その理由と
するところが「青年によつて
青年の間に、青年の間に」と
浮るるなど言つたこと、と
言ふやうなものであると聞い
て、私は黙して特にそのへん
を（秘密）であつた。各分科
同会々、提出された議案を別
議で可決した由で、中央教育
指導部についておぼろけに思
つてゐるの意図は、考へよう

銘酒の友

本町原磯郡賀多縣城
 店商郎次甲谷

てある今日の取極は、国の強弱の
 同様に本年からは益、著と二回に
 わかれ農家の繼續期の生活もい
 るやうなるおでである。
 されども、このす約良の制もいあ
 りないであらう。

次に、農地を担保として融資する農地担保融資制度の問題であるが農地担保融資制度であるものが如何なる制度であるか具体的な提示は、

政府の食糧増産及び農業政策の根本態度をすまやかに明示し、農家並びに一般消費者の不安を解消するよう強く要請する。

奥田組部長が出席する予定である。

承が、その才氣の片々たる二
 日間を通じて一度も発言しなかつ
 たことは、驚おしく許事になつた。
 大蔵省から擧げられて、私目録は
 じめて發したとであつた。恐
 らず、とくにその部長に對する不
 任ともとれる點であつた。



大会参加は大きな感激

八地方代表開会式挨拶から

福岡県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏

堂々と前進しよう

上野 正吉 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏

話題わたい

山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏



初の支部旗授與

山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏

自寛を新たに

山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏

減收加算問題

一 妻妾して米となるはなし

山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏

組織の確立こそ急務

山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏

共通の広場を作ろう

山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏
山形県代表 佐々木 隆二 氏

友愛文化部案内

- A 研究部
- B リクリエーションサークル
- C 山友会
- D 合唱部
- E 俳句会
- F 文芸部
- G 文芸部
- H 文芸部
- I 文芸部
- J 文芸部
- K 文芸部
- L 文芸部
- M 文芸部
- N 文芸部
- O 文芸部
- P 文芸部
- Q 文芸部
- R 文芸部
- S 文芸部
- T 文芸部
- U 文芸部
- V 文芸部
- W 文芸部
- X 文芸部
- Y 文芸部
- Z 文芸部